

暑さなんか気合で吹っ飛ばすぞ



(ウエーブアリーナ)

「毎週1回ウエーブアリーナで空手の指導をしているが、このごろの子供は体力のない子が多い。まず、予備運動を主として、体力づくりを行っている。ウエーブアリーナは広く、子供たちものびのびと練習ができて、最適で快適です。」と、大剛館空手道場SKジム会長の佐村浩幸さんは語ってくれました。

6月定例会報告	2ページ
特別委員会報告	4ページ
連合審査会報告	5ページ
本会議・議会広報委員長から一言	6ページ
一般質問	7ページ
議会ひろば	10ページ

6月定例会
7日~23日

第一次住居表示決定

補正予算・条例(制定・改正)・人事・契約・そのほか合計九議案を
審議、うち八議案を原案どおり可決、一議案を一部修正可決した。
また、工事請負契約の変更など五件の報告があった。

平成11年6月の第二回定例会において議案第四十六号「住居表示に伴う
字の区域及び名称の変更」が文教厚生常任委員会に付託された。

本議案については、住居表示に関する変更の請求書が提出されており、
委員会としても慎重審議のため、これまで委員会十一回、協議会六回、地
元懇談会三回、先進地視察一回を開催した。

また、変更請求を議決するためには「住居表示に関する法律第五条の二
第六項」の規定により公聴会が義務付けられており、これにより、平成12
年5月30日東部公民館(大会議室)において公聴会を開催したが、原案に
対し賛成、反対いずれも公述人の申出はなかった。

従って、6月12日の文教厚生常任委員会において審議した結果、歴史的
背景、社会的事情かつ現状を総合的に勘案し、原案を一部修正のうえ可決
した。



5月30日公聴会開催(東部公民館)

第2次住居表示一部修正可決

修正内容

- 「高陽一丁目」を「高陽台一丁目」
- 「高陽二丁目」を「高陽台二丁目」
- 「西高陽」を「高陽台三丁目」



曾宮 良壽 議員

問 緑ヶ丘の都市計画道路東とバイパス北は第三次事業として6月議会議決後、10月から新町名「旭台5丁目」に変わるが、その他の緑ヶ丘の事業実施はいつになるのか。

答 四次と五次でバイパス南側を、残りの地域は遅れて野間の葉山団地と同じ年次に予定している。

問 緑ヶ丘

については、都市計画道路とバイパスで四分割された

第4次以降の住居表示の計画は

質問

形で町名を考えていかなければならないが区内の融和、一体感を考えると、続けて事業を実施することが望ましいのではないのか。

また、年度が変わると区長や住居表示推進員の交替も考えられるので、事業の継続性、一貫性の上からも考慮できないか。

答 町の基本的な考え、計画は第三次事業での地元説明会の中で区長、組長、推進員の皆さんには理解してもらっているが、指摘の点については他の行政区との兼ね合いもあり調整検討したい。

- 6月定例会議案の議決状況について (承認)
- 土地開発公社役員の任命について (可決)
- 住居表示に伴う字の区域及び名称の変更について (可決)
- 河川管理条例の一部を改正する条例 (可決)
- 準用河川占用料条例の制定について (可決)
- 非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例 (可決)
- 一般会計補正予算(第1号) (可決)
- 附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例 (可決)
- 山田小学校改築工事(本體工事)請負契約について (可決)
- 11年度一般会計繰越明許費繰越計算書外4件の報告

農協の協産物卸売場が芦屋町の駅となる道の岡垣

答 即売場の計画があることは聞いている。過去に農協が岡垣町に計画

しつつあるおそれがある。建設するとすれば、他にない質の高い「道の駅」をつくるべきだと考える。

問 岡垣町は野菜、果物、をはじめ農産加工品、海産物も豊富で、他の市町村に劣らない自然の恵み豊かな

問 特別委員会の中で、ひとつの観光スポットとして、「道の駅」を検討してきた。第四次総合計画でも、明確に「道の駅」が記載されると聞いている。

しかし、現状は「道の駅」の核となる内浦の青空市場、矢矧市などの売上は低下している。原因として津屋崎町、あんずの里、玄海町、田島の即売場、魚市などが考えられる。

中西部地域開発に関する特別委員会

問 農協の芦屋町即売場、郡内の即売場、四九五号線沿いにも「道の駅」が計画中有ることから、岡垣町にも「道の駅」の建設を推進すべきである。

答 将来「道の駅」、「即売場」などが過剰になり、岡垣町に「道の駅」を建設しても、経営が悪化

町であるが、青空市場の売上が減少していることは、町の活性に逆行している。人づくり、町づくりにおいて、1日もはやく「道の駅」の計画、実現に努めてほしい。



市津 広海 議員



〈特別委員会への報告〉

芦屋町の即売場の話が間接的に入って来るので、7月10日農協の有田参事にきていただいて事実関係の確認を行った。結果、5月の理事会で芦屋町に農協の即売場の建設方針が決定された。12年度中に全国中央会の協力を得て現地調査と計画書の作成を行い、13年度の総大会で決定し、13年度下期から実施する。場所は必要がある。

芦屋ポート場先のローソンの西側で、駐車場を含め約二千八百坪で、内一千二百坪が防衛庁用地で、残りが民有地である。



郡農協が芦屋町で即売場を計画中であると聞いた。内容について説明を求める。



下川路 勲 議員

問 トレーニング室（武道館の中、5月31日で廃止）利用のチケットがフィットネスジムで使えない。同じ町の建物なのにおかしいのではないのか、と言う住民からの相談があった。

答 このことについて、連合審査会で次のとおり質問した。

問 5月31日で、トレーニング教室、及びチケット使用ができなくなるが、住民への周知はどのような方法を取ったのか。

答 2月初旬にトレーニング室入口に掲示した。

問 トレーニング室をよく利用される人は掲示板で確認できるかも知れないが、たまに行かれる人のために有線放送や回覧で周知徹底を図るべきであったと思うがどうか。

答 今となつては入口の掲示だけでは周知できなかった。

フィットネス
ジムチケット
トレーニング室
の
ない
な

なぜつかえない

問 つたと反省している。

答 トレーニング室の利用券（チケット）は使用できないのか。

問 使用できません。

問 前払いではないのか。再度検討する余地はないのか。

答 JRでも払いもどしや便宜はそんなに図っていない。

問 JRは営利目的であり、行政とは違う。

答 高速道路も料金改定の場合、一定の猶予期間があるのでよく検討したい。

※お知らせ
トレーニング室の回数券をお持ちの方のためにサンリーアイフィットネスジムで利用ができるようにいたしました。利用にあたっては次の点にご注意ください。

利用場所 サンリーアイフィットネスジム

有効期限 平成12年12月26日（火）まで

問い合わせ 社会教育課 社会体育係へ

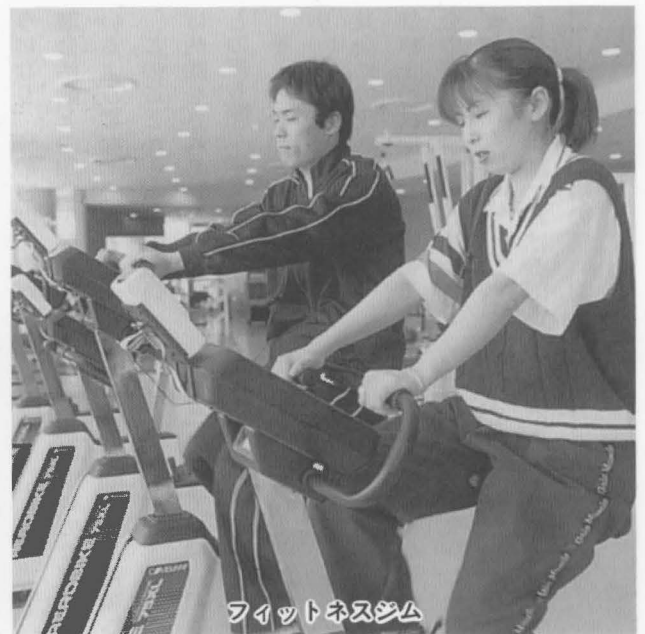
フィットネスジムの利用状況について(サンリーアイから)

最新の器械と健康運動指導士を配置し、利用者へのサービスを行っている。

運動前後に健康測定を行い、データーをもとにトレーナーから各人の年齢、目的に合った指導を受けることができる。

6月10日～6月30日までの年齢別利用状況

利用年齢	延べ利用人数	%
～19歳	86人	10
20歳～29歳	213人	24
30歳～39歳	207人	24
40歳～49歳	146人	17
50歳～59歳	117人	13
60歳～69歳	92人	11
70歳～	11人	1



本会議

山田小学校 改築工事(本体工事) 始まる (7月)

15億3千9百30万円
(工事費)



勢屋 康一 議員

山田小学校改築工事は、飛鳥、三建、六興の3社JVが落札してよいよ工事がはじまる。

問 三社ベンチャーの選定基準について、まずお尋ねしたい。

答 建物についてはAランク、Bランクから選定し、空調、電気関係については建設省が定めた基準点1150点以上により一般公募

この件について、新聞記者から問い合わせがあったので、確認したところ新聞社にも匿名の電話があったとのことでした。無視してもよか

を行った。

問 匿名の投書が3通きているが、基本的には匿名の投書は無視すべきと考える。

しかし、投書どおりの業者が落札すると談合があったのではないかと思われる。

答 談合はなかった。



山田小学校完成予想図

つたが、指名委員会を開いて検討し、入札時間を5時間遅らせ、各業者に談合の確認を行い誓約書をとった。あれば直ちに取り消すようにしている。

問 三社ベンチャーを組んだのは、地元の業者が少しでもうるおうように考えた結果なのか。

答 そのとおりである。

問 例えば空調、電気工事については、その会社と地元業者が直接話し合い、下請けをさせていただくように三社JVを組んだはずだが、体育館の場合はどのようにならなかったと聞いているがどうなのか。

答 今回も地元業者にできるものについては直接お願いしたと聞いている。

問 立派な校舎、プールが予定どおりできることを願っている。

議長 委員会 広報 会 議 長 一言 から

ところが近年、一般質問が紙面の大部分を占めるようになり、一般質問のみが議会活動との印象を与えているようになってきている。

このことから、他の議員は活動をされていないのかとの声も聞くようになった。そこで今回の「議会だより」から、文教厚生常任委員会に付託された議案の一部修正可決記事、特別委員会の調査・研究また連合審査会における審査について、さらには本会議における山田小学校改築工事の請負契

約の議決についてなど、従来の一般質問以外も掲載した。

議会において、議員の他方面にわたる活動の一端を紹介することができたと思う。

今後、議会広報委員会は、議会でのさまざまな活動の確に紹介し、充実した議会だよりを発行するよう努力します。



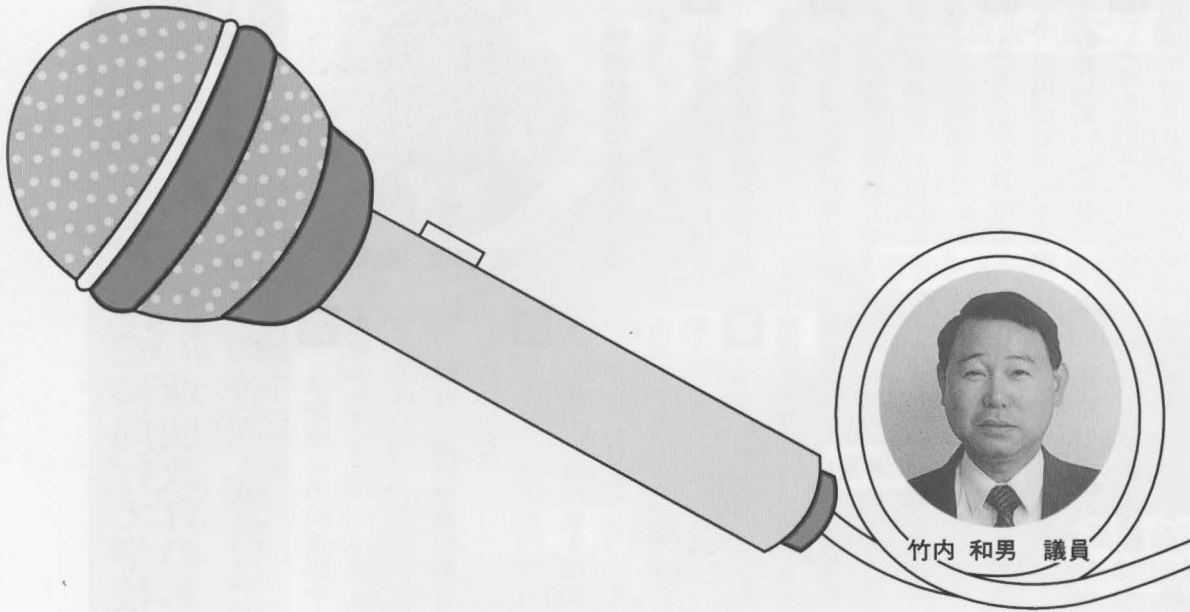
木原 信次 議員

議会だよりは、平成4年以来、毎年4回定例会ごとに発行してきた。

議会の情報を周知することで町民の皆様の身近なものとなるように努めてきた。



滋賀県能登川町議会視察



竹内 和男 議員

こんなこと聞きました

一般質問

問 財政健全化・行革の

補助について見直し、再

検討が必要だ

と思うが。

評価制度とし

て、行政評価

を我が町にも

導入してはど

うか提案した

い、町長の見

解を尋ねる。

答 一週間で一五〇人も

答 経済・

社会の仕組み

が大きくかわ

りつつある現

在、財政状況

は、一層厳し

くなる。そこ

で、町として

も第四次マス

タープランの

基本構想等の

計画の推進に

あわせて政策

・事業評価制

度の導入を図りたいと考

える。

問 町職員互助会に対す

る。

答 県は9月に強化ガラ

スに対する助成事業を打ち

1. 行政改革の評価制度について
2. 町職員互助会補助金の見直しについて
3. 山田小学校改築に伴う強化ガラスの使用について
4. 児童手当該当世帯への通知を
5. 難病患者への医療費の負担について

質問

問 町職員互助会に対す

る。

答 県は9月に強化ガラ

スに対する助成事業を打ち

る。

べきと思うが。

出すようにしている。十分

間に合うので検討したい。

問 児童手当の拡充が図

られたが、該当世帯に対し

て、行政から通知すべきと

思うが。

答 職員の

福利厚生とし

て、地方公務

員法にもとづ

いて補助して

いる。今後の

事業評価制度

の導入をどう

するか、先進

地の状況を調

査して検討し

ていきたい。

問 災害時

の避難場所

になる山田小

学校の改築にあ

わせて、窓ガ

ラスに強化ガ

ラスを導入す

る。

問 難病に苦しむ患者は、

少ない専門医療機関や不十

分な医療・生活保障制度な

い。

問 難病に苦しむ患者は、

少ない専門医療機関や不十

分な医療・生活保障制度な

い。

問 難病に苦しむ患者は、

少ない専門医療機関や不十

分な医療・生活保障制度な

い。

問 難病に苦しむ患者は、

少ない専門医療機関や不十

分な医療・生活保障制度な

い。

支給対象年齢の延長

現行の3歳未満から義務教育就学前（6歳到達後最初の年度末）まで支給（平成6年4月2日以降に生まれた児童が対象です。）

手当月額

現行どおり

第1子・第2子

5,000円

第3子以降

10,000円

質問

一、総合的な学習に向けて学校・家庭・地域教育のあり方について
二、学童保育所の管理・運営について



大堂 圀治 議員

一、学校教育のあり方について

問 総合的な学習に向けて、教師の意識改革をどのように進めるのか。

答 新学習指導要領の説明会や研修会を実施して、総合学習の目的や内容について十分に徹底していく。

問 生きる力の育成策として、子供にどのような内容で教育していくのか。

答 ふれあいスクールイン岡垣やゴミ0の日の取り組み、職場体験学習等を積極的に実践する教育を進める。

問 開かれた学校づくりとして、具体的に何を実施していくのか。

答 公民館の出前講座や地域の人材を活用し、授業に取り入れていくことになる。

答 施設の充実化のために、公設公営にすべきだが。

問 総合的な学習に当たって、家庭や地域の果す役割がますます大きくなっていくが、これらの対策をどのように進めるのか。

答 子供を育てやすい環境づくりは行政の責務であると認識しているので、一層の充実化のために、公設公営の早期実現に向けて努力する。

答 核家族化が進む中で、家庭や地域教育システムの構築を行い、十分な連携を図りながら、それぞれの立場での役割や資質を高揚させる努力をお互いに行っていかなければならないと思っている。

問 地域の子供づくりのために、幼老共生体制づくりを進めていくことが必要と思う。

答 今後の検討課題にしたいと考えている。

問 三、町内三力所の学童保育所の管理・運営について 児童福祉法の改訂や



4月5日開所した吉木学童保育所

問 今年是被爆五十五周年の年であり、来年は岡垣町が「核兵器廃絶平和宣言の町」を行う

答 今年も節目の年であり、21世紀最初の年でもある。こういう歴史的な年に岡垣町として平和記念事業を行うと共に、節目の年を機に新たな決意で宣言に基づき施策の充実を求める。



久保田 秀昭 議員

質問

忘れていませんか

核兵器廃絶平和宣言の町

和の尊さを守り育てていかなければならないと考えている。宣言に基づき一層の取り組みの充実については、今年で宣言を行ってから15年目を迎える21世紀の節目を迎えることとなるので、今後の平和記念事業のあり方、取り組み方について検討を行ってみたいと考えている。

問 日米の核密約問題については、事前に町長に米国の国立公文書館にあった資料を渡していた。その資料で明らかなのは「核兵器を積んだまま日本の空港や港に立ち寄ることは事前協議の対象にならない」ことを認めている。この事について「核兵器廃絶平和宣言の町」を行っている町長としての見解を尋ねる。

答 町の基本姿勢は宣言で決議しているように「我々は生命の尊厳を深く認識し、非核三原則が完全に実施されることを願い核兵器の廃絶を強く全世界の人々に訴えらるとともに、人類普遍の大義に向かって不断の努力を続けることが肝要である。よって岡垣町は平和への誓いを新たに決意し」と表現しているとおりであり、核密約が事実であれば残念なことだ。



いつまでも平和でありますように



細川 光利 議員

問 波津漁業の現状について、その振興策を質問する。

答 家族労働を中心とした小規模経営体が多く、水質源の悪化、漁価の低迷等により漁業所得は減少傾向になっている。漁獲量も5年前と比較して40%減少である。種苗放流など、作り育てる漁業拡充を研究、検討を行っている。

問 まちづくりと波津地域と漁業の位置付けについて。第一次産業として漁業と農業は岡垣町の経済基盤を支え、その役割を担ってきた。波津海岸線一帯は自然があたえた宝である、観光案内場所のアンケートでも56・2%で第一位に上げている。漁業を通して自然を守り暮らしている波津海岸地域



大漁を願って出漁を待つ漁船

質問 「自然の宝」
今後どうなる
漁業問題と町づくりへ

の現状は大変な状況である。まちづくりの中に明確に位置付けて思いきった行政施策を実施すべきである。

くりであり、地域活性化である。あらゆる地元の資源を見直し、人々の多種多様な技術、人々の意欲と力を結集していくために異業種交流が重要である。この事は中西部地域、町全体の活気ある暮らしを考えても重要である。町長の力強い答弁を求める。

問 まちづくりには、文化、スポーツ、福祉など全町民の課題があるが一定の施策は実施されている。まちづくりとは、感動産業づくり

答 わかりました。任期中に漁業問題、中西部地域の活力ある地域づくりに取り組んで一定の方向をだしたい。

質問 納得しんごきあが
介護サービス



問 この制度は、介護認定された町民のサービスの実態を把握できないようになってきている。

政として介護サービスの利用度合いは把握できない状況である。

答 直接その話は聞いていない。

遠賀支部でも介護認定は受けたが、サービスを受けていない方が相当あると聞いているが、どうなっているか。

問 この制度は実態が把握できないようになってきているか、把握する必要があると思う。

答 直接その話は聞いていない。町の行政をつかさどるものとして実態を把握する必要性があると思う。

答 認定されると本人が希望するサービスを受けることが出来るようになってくる。

問 介護保険になったら利用料金（自己負担）が高くて、介護サービスを減らすなどと報道がされている。町民から自己負担が高いなどと言った声を聞かれたことがあるか。

答 難しい問題もあるので、検討の課題としていきたい。



平山 弘 議員

希望するサービスについては、ケアマネージャーが本人とケアプランをたてるようになってきているので、行

また、町の施策の一つとして減免をして頂きたい。

平成12年第2回岡垣町議会定例会審議結果表

Table with columns: 会期 (Meeting Period), 月 (Month), 日 (Day), 曜 (Day of Week), 開議時刻 (Meeting Time), 摘要 (Summary), 備考 (Remarks). It lists 17 sessions from June 7 to June 23, including various committees and public inquiries.

都合により日程を変更する場合があります
(議会開催前に審議予定表を東部・中央・西部公民館に配布しています)

議会を傍聴して

平成12年の第二回定例会議会を傍聴させていただきました。ここ数年、傍聴していませんでしたが、久しぶりに傍聴し大変よい勉強をさせていただきました。

誰もが生き生きと暮らせる町、障害を持つ人、高齢者も、子どもも、若い人も共に明るく生きていける町づくりのため、真剣に質問される議員さんの姿勢を見て、とても心強く嬉しく思います。一つの質問をするためには、現場に足を運び、町民の声に耳を傾け、専門的な分野の時間をかけ勉強されたであろうと、聞いていてそのご苦労がひしひしと感じられます。とり上げられた問題は、すべて私たちの日々の生活に直接結びついたことばかりです。学校問題、平和問題、福祉問題などこれから大いに議論をつくして、よりよい中身になるように願っています。

そして、私たちが選んだ議員さんの努力されている姿に、ぜひ一人でも多くの皆さんと傍聴席から声援をおくりたいものです。

暑中お見舞い

申し上げます

岡垣町議会議員一同

編集後記

総選挙満中の6月定例会。所属、支持それぞれ異なる立場で、明日の岡垣のため、日本のためにと議員各位も自らの信念にしたがって汗する毎日のようでした。同時に議会人の使命である議会活動も、通常の定例会の日程と変わらぬ中、町民の負託に応えるものであったかどうかは今号議会だよりをご覧いただければ。「銃後のまもり」を二十代の若者に問えば、「なにそれ」の風情。

戦後生まれの小生、体験はないがそれなりの理解はあるつもりで、この言葉の世代間ギャップにいささかショックを受けた。「うそー」「される」「ださい」「ケータイ」は政治の言葉ではないが、政治の有様から来た言葉ではある。「ボキヤ貧」を返上して、岡垣の若者にも魅力ある議会広報を考へるが、道は険しそうで。

あなたの議会です
傍聴をして
みませんが

次の定例会は9月上旬頃

開かれる予定です
お気軽においで下さい。

議会広報委員会
委員長 木原信次
委員 竹井和明
委員 勢屋康一
委員 下川路良
委員 曾宮良壽